

毎年8月開催、  
**1,000**人以上参加  
とびうお杯全国少年少女水泳競技会

毎年8月に古橋廣之進記念浜松市総合水泳場「トビオ (ToBiO)」で行われるスイミングクラブ対抗の水泳大会。2005 (平成17) 年に「スポーツ拠点づくり推進事業」に承認された。大会名は、古橋廣之進の異名「フジヤマのトビウオ」にちなんで命名 (P9参照)。

日本水泳連盟が公認する唯一の学童大会で毎年1,000人以上の小学生が出場し、まさにトビウオのように力泳する。



プロスポーツが**2**チーム  
浜松・東三河フェニックスと  
アグレミーナ浜松

浜松市で2つのプロスポーツチームが活躍しています。浜松・東三河フェニックスは、浜松市と愛知県東三河地区をホームタウンとするbjリーグ (日本プロバスケットボールリーグ) に所属するプロバスケットボールチーム。2008 (平成20) 年bjリーグに参戦してからはリーグ2連覇も達成した。アグレミーナ浜松は、1996 (平成8) 年静岡県西部地区の元実業団選手や元Jリーガーを中心に活動を開始したチームを母体として2012 (平成24) 年からFリーグ (日本フットサルリーグ) に加盟した浜松のプロフットサルチーム。両チームとも浜松アリーナを本拠地とし、練習や試合の合間には青少年のスポーツ育成に関わる活動や地域イベントに参加する。

また、楽曲提供や応援で彼らをサポートするスタッフは地域にゆかりのあるメンバーで構成されている。地域一体となって活動する彼らの迫力ある試合をぜひ、一度は観戦しに出かけていただきたい。



**60**単位以上取得で認定  
地域スポーツ指導者

地域スポーツ指導者養成講座を開設し、各種講習会の受講やスポーツイベントへの参加を通じて、指導者としての資質を高めるプログラムを実施している。年15回、原則として2年間で60単位を取得することで認定される。認定指導者は浜松シティマラソンをはじめとするスポーツボランティア活動 (P4参照) や地域スポーツ活動での指導の要請に対応する機会が与えられる。

**1959**年日本初  
日本で初めてのアーチェリー場

1957 (昭和32) 年に日本楽器 (現:ヤマハ) 社長がアメリカ視察の土産としてアーチェリー用具を持ち帰ったことにより、同社の従業員によって洋弓クラブが発足した。1959 (昭和34) 年に日本で初めてとなるアーチェリー場が中沢町 (現:中区中沢町) に完成すると次第に普及していき、元城町 (現:中区元城町) で第1回全日本アーチェリー大会が開催された。2013 (平成25) 年3月、南区江之島町に市営「江之島アーチェリー場」を新設した。アーチェリー発祥の地で新境地を開拓してはいかが。



**50**種類以上※  
メニュー  
スポーツ教室・健康教室

年間を通して、屋外・屋内のさまざまなジャンルのスポーツや健康・体力づくりの教室を開催している。子どもから高齢者まで、また妊婦や赤ちゃんのための健康講座も企画している。インストラクターによる丁寧な指導が受けられる場合が多いので、今からスポーツを始めたいという人にもお勧め。ホームページや広報はままつに随時案内を掲載している。(一例:水泳、ボウリング、ボクシング、ヨガ、はつらつ健康教室、乗馬、トランポリン、スキー)

※平成25年度実績

# 知ればもっと面白い。 浜松なるほどスポーツ



まちには「やりたくなる、観たくなる、支え(育て)たくなる」スポーツがいっぱい。

目標 **65** %  
週1回以上のスポーツ実施率

2013 (平成25) 年4月、無作為に抽出した市民3,000人を対象に行った「浜松市スポーツ (運動) に関する市民意識調査」では「成人の週1回以上のスポーツ実施率」は45.4%、前回調査結果 (平成20年6月) 38.9%を上回った。国の指針は65%であるが、スポーツ文化都市を目指す浜松市も、スポーツ実施率65%を目標に掲げている。また同調査で「成人の年1回以上のスポーツ観戦・応援実施率」は39.3%「成人の年1回以上のスポーツ支援実施率」は15.4%。市は、これらの実施率を50%と35%を目標にスポーツ推進に取り組んでいく。



ボールの直径 **122** cm  
カナダ発のニュースポーツ

感動の共有や協調性を高めるスポーツとして1986年にカナダで考案された「キンボール」。室内スポーツとして、現在、世界中で500万人が楽しむ。4人がチームになって巨大なボールを床に落とさないよう全員が協力し合う。市では東区が積極的に地域活動に取り入れ、平成26年3月には第5回東区長杯を開催。このような子どもから高齢者まで楽しめるレクリエーションスポーツは、「バウンドテニス」や舞阪発祥の「ペタボード (床の上で樹木製の駒をスティックで押し出し、駒が止まったところに印された得点を競うゲーム)」なども人気。

